

勉学の旗 (高須中学校だより)

令和元年11月19日号 高須中学校長 山口和久



※ 今回は、「全国学力・学習状況調査」についての特集号です。

平成31年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成31年4月18日(木)に、3年生を対象として、「教科(国語, 数学, 英語)に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

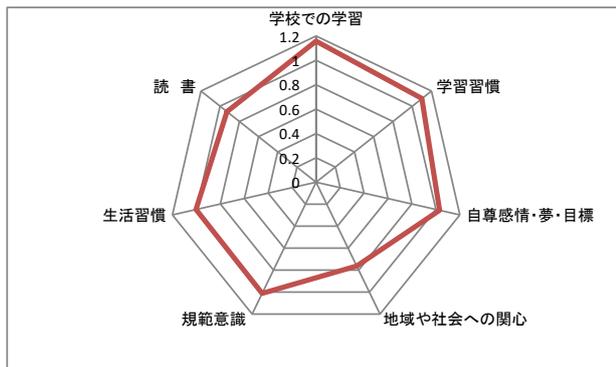
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

| 教科・区分 | 学力調査の分析(傾向や特徴) | 全国平均正答率との比較 |
|-------|--|-------------|
| 国語 | 自分が気に入った短歌等を選び、根拠を明らかにして自分の考えを書く問題が全国平均を下回った。また、手紙の書き方といった常識(知識)問題での正答率も良くなく、知識を補充しながら、根拠をもって意見を書く授業を充実させたい。 | 下回っている |
| 数学 | 全国平均を下回ったが、領域別では「資料の活用」の問題は正答率が全国平均を上回った。全体的にどの問題も無解答率は全国平均と同程度であったが、正答率が全国平均を下回っているため、今後は1・2年生の復習を行いながら、学習を進めていく必要がある。 | 下回っている |
| 英語 | 聞くこと、読むことの2領域では、全国平均と同程度の正答率であったが、書くことの領域では、下回った。授業でスピーチやプレゼンテーションなど発表する機会や、自分の考えや気持ちを英語で書く活動が不十分であったので、そのような活動を充実させていきたい。 | 下回っている |

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析

- ・家庭学習が徐々に定着してきており、1日1時間以上の家庭学習に取り組む生徒は7割を超え、1学期末の学校独自のアンケートでも8割に近づきつつある。
- ・自尊感情が高い生徒や人の役に立つ人間になりたいと思っている生徒の割合は全国平均を大きく上回っているが、将来の夢や目標をもつ生徒の割合が低いので、具体的な目標設定を行い、進路実現のためのキャリア教育を行うとともに、自身の行動に結びつけていかなければならない。
- ・地域の行事に参加する生徒や、地域や社会で起こっていることに関心を持っている生徒の割合が極端に低いのが課題である。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

今後めもあてとまとめの整合性が図られた授業を実施する。学習した内容を実生活に結び付け、それを活用する力を高めるための教材作り、深い学びにつながる意義のある話し合い活動を充実させる。今後も学校全体で授業改善を推進し、授業力の向上を図る。また、子ども読書の日や日常の朝読書等を充実させ、読書の必要性を感じる機会を多く与えていきたい。

② 家庭生活習慣等に関する取組

地域清掃やボランティア、部活動の地域行事への積極的な参加などを推進し、SDGsの視点を踏まえてシビックプライドを醸成していく。定期的な生活アンケートを実施して、生徒の生活習慣を把握した上で、教育相談や保護者懇談会、通信などを通じて、生徒・保護者に家庭学習の大切さを啓発していく。

☆ この内容は、学校HPにも掲載します。